




Dell™ S300wi プロジェクタ  
取扱説明書

## メモ、注意、警告

-  **メモ:**「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意:**「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告:**「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2010 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標: *Dell* および *DELL* ロゴは Dell Inc. の商標です。 *DLP* および *DLP* ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。 *Microsoft* および *Windows* は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル S300wi

2010年4月 Rev. A00

# 目次

1	プロジェクタについて	7
	プロジェクタについて	9
	対話型ペンについて	10
2	プロジェクタの接続	12
	アンテナの取り付け	13
	<b>コンピュータへの接続</b>	<b>14</b>
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	14
	VGA ケーブルを使用してループする一接続を モニタしてください	15
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	16
	USB ディスプレイを使ったコンピュータの 接続	17
	ワイヤレスを使ったコンピュータの接続	18
	<b>DVD プレーヤーの接続</b>	<b>19</b>
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	19
	コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	20
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	21
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	22
	<b>LAN ( 構内通信網 ) への接続</b>	<b>23</b>
	画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネット ワークに接続されたプロジェクタを制御し ます。	23

プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け . . . . .	24
商用 RS232 コントロールボックスの接続 . . . . .	25
対話型ペンと接続する . . . . .	26
<b>3 プロジェクタの使用方法 . . . . .</b>	<b>28</b>
<b>プロジェクタの電源を入れる . . . . .</b>	<b>28</b>
<b>プロジェクタの電源を切る . . . . .</b>	<b>28</b>
<b>投影画像の調整 . . . . .</b>	<b>29</b>
プロジェクトの高さを上げる . . . . .	29
プロジェクトの高さを下げる . . . . .	29
<b>プロジェクトのフォーカス調整 . . . . .</b>	<b>30</b>
<b>投影画像サイズの調整 . . . . .</b>	<b>31</b>
<b>コントロールパネルの使用方法 . . . . .</b>	<b>33</b>
<b>リモコンの使用方法 . . . . .</b>	<b>35</b>
<b>対話型ペンを使用する . . . . .</b>	<b>38</b>
<b>リストストラップを使用する . . . . .</b>	<b>40</b>
<b>リモートコントロールバッテリーの取り付け . . . . .</b>	<b>41</b>
<b>対話型ペンにバッテリーを取り付ける . . . . .</b>	<b>42</b>
<b>リモコンの動作範囲 . . . . .</b>	<b>43</b>
<b>対話型ペンの操作範囲 . . . . .</b>	<b>44</b>
<b>オンスクリーンディスプレイの使用方法 . . . . .</b>	<b>45</b>
メインメニュー . . . . .	45
自動調整 . . . . .	45



入力選択 . . . . .	46
ピクチャ (PC モード) . . . . .	47
ピクチャ (ビデオモード) . . . . .	48
表示 (PC モード) . . . . .	50
表示 (ビデオモード) . . . . .	52
ランプ . . . . .	53
設定 . . . . .	53
その他 . . . . .	58
<b>ワイヤレスネットワーキングのインストール . . . . .</b>	<b>68</b>
S300wi ワイヤレスアプリケーションソフト ウェア . . . . .	72
<b>USB ディスプレイドライバのインストール . . . . .</b>	<b>76</b>
<b>Presentation to Go (PtG) のインストール . . . . .</b>	<b>77</b>
PtG ビューア . . . . .	78
写真ビューア . . . . .	78
PtG/ 写真機能の概要 . . . . .	79
PtG 概要 . . . . .	79
写真概要 . . . . .	80
ボタンの概要 . . . . .	80
Setup PtG Converter - Lite . . . . .	81
PtG Converter - Lite アプリケーションソフト ウェア . . . . .	81
<b>Web 管理からプロジェクトの管理 . . . . .</b>	<b>83</b>
セットワーク設定の設定 . . . . .	83
Web 管理にアクセスする . . . . .	83
<b>アプリケーショントークンの作成 . . . . .</b>	<b>102</b>

4	プロジェクタのトラブルシューティング .....	103
	ガイド信号 .....	108
	対話型ペンLED 誘導信号 .....	110
	ランプの交換 .....	111
5	仕様 .....	113
6	Dell へのお問い合わせ .....	119
	EInstruction へのお問い合わせ .....	120
7	付録：用語集 .....	121

## プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

---

### 同梱されているもの

---

電源ケーブル



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



アンテナ



リモコン



CD ユーザーガイドおよびドキュメント 単4電池 (2)



USB ケーブル (USB-A - USB-B)



対話型ペン



---

同梱されているもの (続き)

単3 アルカリ乾電池 (2)



リストストラップ



5m ミニ USB ケーブル (USB-A 対 Mini USB-B)



Interwrite Workspace CD



ニブ

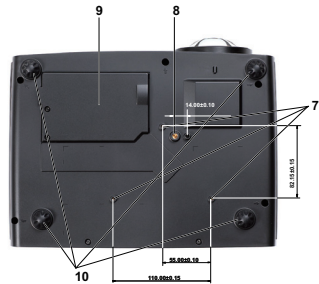


# プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	フォーカスタブ
3	レンズ
4	IR レシーバ
5	レンズキャップ
6	アンテナ
7	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M3 x 6.5mm 深度。 推奨トルク <8 kgf-cm
8	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"×20 UNC
9	ランプカバー
10	傾斜調整ホイール

## 対話型ペンについて

上方図



底面図



1	交換用ニブ
2	レンズ
3	コントロールパネル
4	LED インジケータ
5	セキュリティバー
6	バッテリーカバー

### **⚠ 警告：安全上のご注意**

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

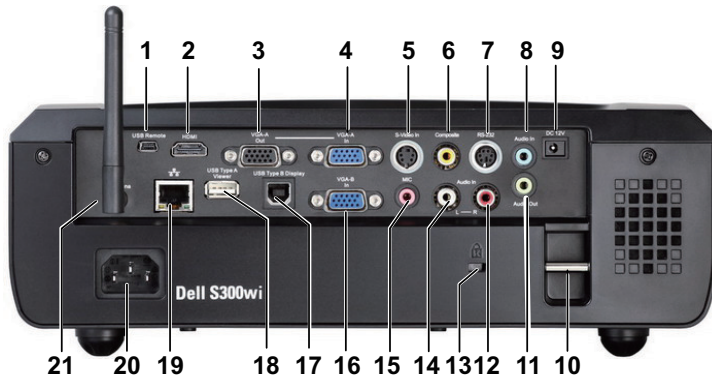


#### メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛け (P/N: 4TVT8/V3RTH). 詳細については、Dell サポート Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。
- S300wi プロジェクタは、室内専用です。

# 2

## プロジェクトの接続



1	リモートマウス用ミニ USB、対話型機能およびファームウェアアップグレード。	12	オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ
2	HDMI コネクタ	13	セキュリティケーブルスロット
3	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	14	オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ
4	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	15	マイクコネクタ
5	S ビデオコネクタ	16	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
6	コンジットビデオコネクタ	17	USB タイプ B ディスプレイコネクタ
7	RS232 コネクタ	18	USB タイプ A ビューアコネクタ
8	オーディオ -A 入力コネクタ	19	RJ45 コネクタ
9	+12V DC アウトコネクタ	20	電源コードコネクタ
10	セキュリティバー	21	アンテナコネクタ
11	オーディオ出力コネクタ		



**⚠ 警告**：この章で説明する交換処理の前に、ページ 10にある「安全上のご注意」をお読みください。

## アンテナの取り付け

プロジェクタには、ワイヤレスネットワーキング用のワイヤレスアンテナが付属しています。69 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。

- 1 アンテナをプロジェクタ背面にあるアンテナコネクタにねじで取り付けます。



- 2 アンテナを図で示す位置まで引き起こします。



# コンピュータへの接続

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

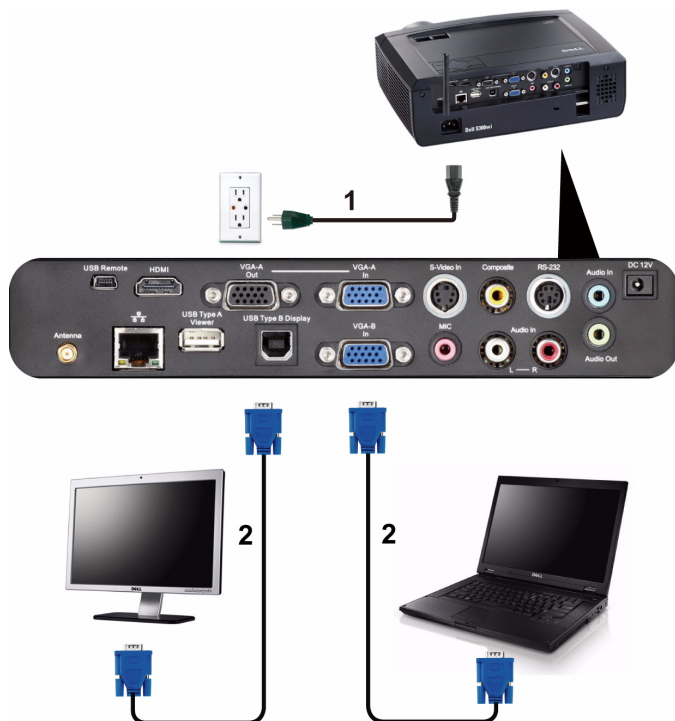


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル



**メモ:** リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル



**メモ：**プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でご購入いただけます。

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル




**メモ**：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

## USB ディスプレイを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	USB-A - USB-B ケーブル

 **メモ** : USB ドライバのインストールについては、77 ページの「USB ディスプレイドライバのインストール」を参照してください。

## ワイヤレスを使ったコンピュータの接続



**メモ**：ワイヤレス接続を検出するには、コンピュータにワイヤレス機能が搭載され、適切に設定されている必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

# DVD プレーヤーの接続

## S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル



**メモ** : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



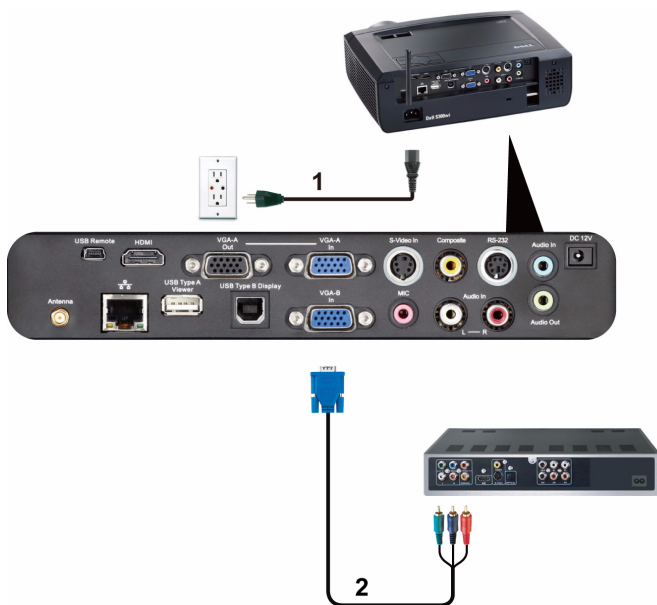
1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



**メモ:** コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。



## コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル



**メモ** : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	HDMI ケーブル



**メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

## LAN ( 構内通信網 ) への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。



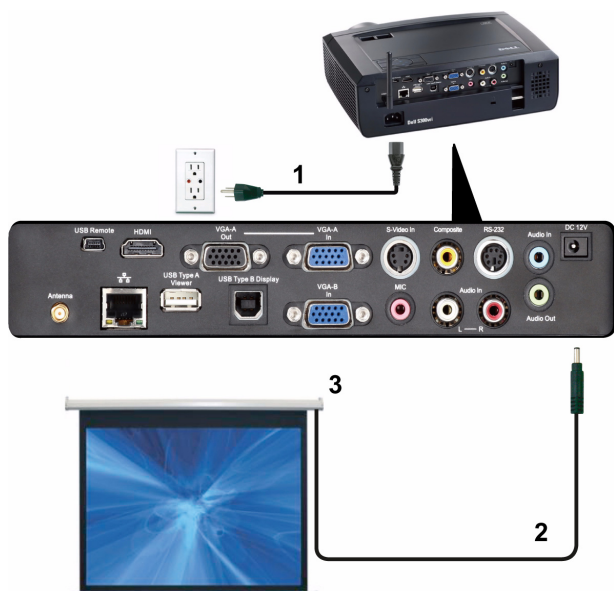
LAN ( 構内通信網 )

1	電源コード
2	RJ45 ケーブル



**メモ** : RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

## プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング自動スクリーンの取り付け



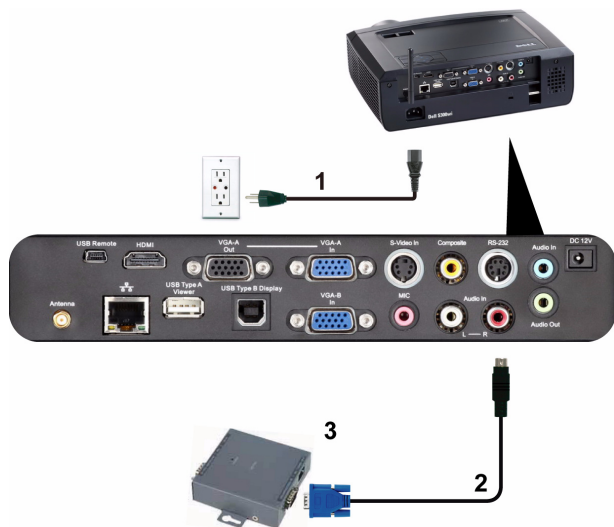
1	電源コード
2	12V DC プラグ
3	自動スクリーン

**メモ**：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12V DC プラグを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

12V DC プラグ



## 商用 RS232 コントロールボックスの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス



**メモ** : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

## 対話型ペンと接続する



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル
4	自動スクリーン
5	12V DC プラグ
6	対話型ペン


### メモ：

- 1 双方向性は次の入力モードでのみサポートされます：PC から VGA と HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、LAN ディスプレイ

- 2 対話型ペンを有効にするには、コンピュータとプロジェクタの間に2番目の接続が必要となります。コンピュータとプロジェクタ接続の間で、次の3つのオプションを利用できます：
  - a ミニ USB ケーブルの使用
  - b LAN ケーブルの使用 (Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのインストールに必要)
  - c WLAN の使用 (Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのインストールに必要)LAN または WLAN 接続を使用している場合、まずワイヤレス / ネットワークがオンになっていることを確認してください。
- 3 自動スクリーンはオプションです。
- 4 デスクトップ PC / ノート PC およびプロジェクタの距離が5メートル以上ある場合、インストールに USB ハブをお使いになるようにお勧めします。


# プロジェクタの使用法

## プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、12 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、33 ページの「コントロールパネルの使用法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、12 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースはVGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、33 ページの「コントロールパネルの使用法」と 35 ページの「リモコンの使用法」を参照してください。

## プロジェクタの電源を切る


 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。メッセージは5秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。



- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

- 4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

## 投影画像の調整

### プロジェクタの高さを上げる

- 1 プロジェクタを任意の高さまで上げ、2つの前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。
- 2 2つの傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

### プロジェクタの高さを下げる

- 1 プロジェクタを下げ、2つの前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。



1	前面傾斜調整ホイール (傾斜角度: -1 ~ 4度)
2	傾斜調整ホイール

## プロジェクタのフォーカス調整

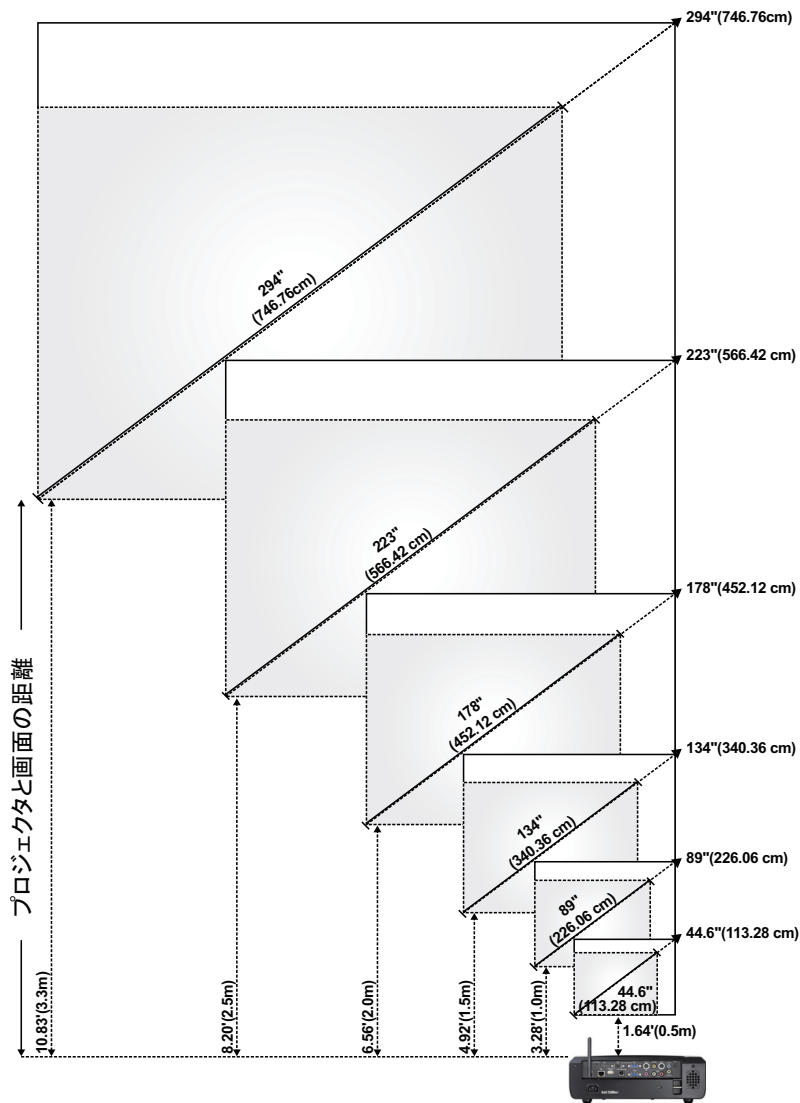
**⚠ 警告:** プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、エレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

1 画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 49.99 cm ~ 330.10 cm (0.5 m ~ 3.3 m) です。



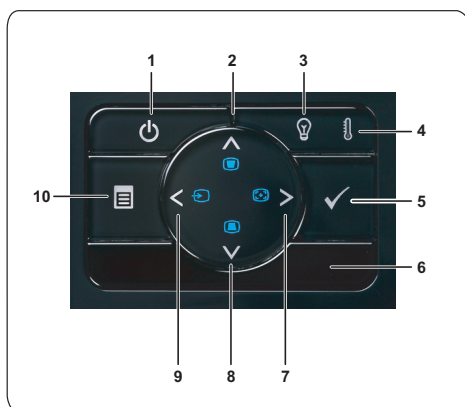
1	フォーカスタブ
---	---------

# 投影画像サイズの調整









画面 (対角線)	最大	44.6" (113.28 cm)	89" (226.06 cm)	134" (340.36cm)	178" (452.12 cm)	223" (566.42 cm)	294" (746.76 cm)
	最小	44.6" (113.28 cm)	89" (226.06 cm)	134" (340.36cm)	178" (452.12 cm)	223" (566.42 cm)	294" (746.76cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	37.80" X 23.62"	75.59" X 47.24"	113.39" X 70.87"	151.18" X 94.49"	188.98" X 118.11"	249.21" X 155.91"
		(96 cm X 60 cm)	(192 cm X 120 cm)	(288 cm X 180 cm)	(384 cm X 240 cm)	(480 cm X 300 cm)	(633 cm X 396 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	37.80" X 23.62"	75.59" X 47.24"	113.39" X 70.87"	151.18" X 94.49"	188.98" X 118.11"	249.21" X 155.91"
		(96 cm X 60 cm)	(192 cm X 120 cm)	(288 cm X 180 cm)	(384 cm X 240 cm)	(480 cm X 300 cm)	(633 cm X 396 cm)
Hd	最大	2.93" (7.44 cm)	5.86" (14.87 cm)	8.79" (22.32 cm)	11.71" (29.74 cm)	14.64" (37.19 cm)	19.33" (49.09 cm)
	最小	2.93" (7.44 cm)	5.86" (14.87 cm)	8.79" (22.32 cm)	11.71" (29.74 cm)	14.64" (37.19 cm)	19.33" (49.09 cm)
投影距離		1.64' (0.5m)	3.28' (1.0m)	4.92' (1.5m)	6.56' (2.0m)	8.20' (2.5m)	10.83' (3.3m)
* この表はユーザーの参照用です。							

## コントロールパネルの使用方法













- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1 電源                      | プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、28ページの「プロジェクタの電源を入れる」および28ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。  |
| 2 上 $\uparrow$ / キーストーン調整 | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。<br>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35度)。   |
| 3 ランプ警告ライト                | ランプの黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われるです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ランプがその耐用年数の終わりに達した</li><li>• ランプモジュールを適切に取り付けていない</li><li>• ランプドライバが故障している</li><li>• カラーホイールが故障している</li></ul> 詳しくは、103ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および108ページの「ガイド信号」を参照してください。 |

4	温度警告ライト	<p>温度の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクタの内部温度が高すぎる</li> <li>• カラーホイールが故障している</li> </ul> <p>詳しくは、103 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 108 ページの「ガイド信号」を参照してください。</p>
5	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
7	右  / 自動調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。</p> <p> <b>メモ:</b> オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、<b>自動調整は作動しません。</b></p>
8	ダウン  / キーストーン調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。</p>
9	左  / ソース	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。</p>
10	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。






# リモコンの使用方法



- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 電源    | プロジェクトの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、28 ページの「プロジェクトの電源を入れる」および 28 ページの「プロジェクトの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 | エンター  | このボタンを押して選択を確定します。  |
| 3 | 右     | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。  |
| 4 | ダウン   | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。  |

5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。
<p><b>⚠ 警告：レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けないでください。</b></p>		
6	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
7	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。 <b>メモ：</b> ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。 <b>メモ：</b> ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
11	S ビデオ	このボタンを押して S ビデオソースを選択します。
12	ビデオ	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。 <b>ビデオモード</b> ボタンを押して <b>プレゼンテーションモード</b> 、 <b>明るさモード</b> 、 <b>M 画モード</b> 、 <b>sRGB</b> 、または <b>カスタムモード</b> を切り替えます。 <b>ビデオモード</b> ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 <b>ビデオモード</b> ボタンを押すと、モードが切り替わります。
14	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。

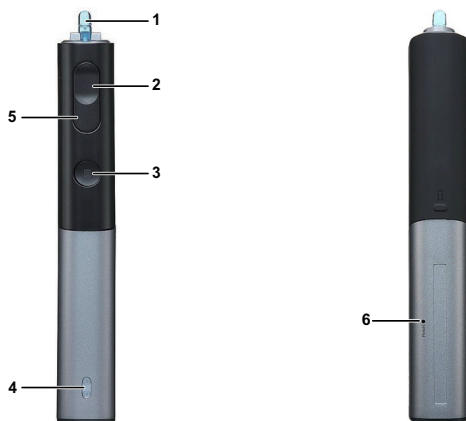


16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	ズーム +	このボタンを押して画像を上げます。
20	ズーム -	このボタンを押して画像を下げます。
21	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
22	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
23	フリーズ	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

# 対話型ペンを使用する

上方図

底面図




## 1 交換用ニブ

ニブを押して描画または記述を行います。ニブがかみ合っているとき、マウスの左クリックのように機能して描画または記述を行います。

### メモ：

- ニブがかみ合っていない場合、ペンは描画モードに切り替わってボタン機能は無効になります。
- ニブが摩耗したら、以下に示すようにニブのヘッドを交換してください。



2	左	このボタンは、マウスの左ボタンのように機能します。
3	機能	<p>使用できる機能は、OSD メニュー「機能を設定」に一覧表示されています (ページ 64 を参照)。</p> <p> <b>メモ:</b> [機能] ボタンをダブルクリックすると、ソフトウェアでサポートされている場合、[下に戻す]として機能します。</p>
4	LED インジケータ	2 つの LED インジケータ、緑色と黄色を使用できます (110 ページの「対話型ペン LED 誘導信号」を参照)。
5	右	このボタンは、マウスの右ボタンのように機能します。
6	リセット	このボタンを押して、対話型ペンの設定をリセットします。



#### **メモ: OSD 警告メッセージ - バッテリ残量残り僅か**

- バッテリ電圧が 2V 以下になると、バッテリ低下警告メッセージがポップアップ表示されます。この状態で、ペンは約 1 ~ 2 時間作動できます。
- バッテリ電圧が 1.8V 以下になると、ペンは無効になります。



#### **メモ: OSD 警告メッセージ - 範囲外**

以下の状況では、ペンセンサーが範囲外となります:

- ペンがスクリーンを向いていない。
- ペンがスクリーンから離れすぎている。
- プロジェクタの輝度が低すぎて検出できない。



#### **メモ: ボタンの組み合わせ**

- **左 + 機能:** スクリーンに、[ペン情報] メニューが表示されます。
- **右 + 機能:** スクリーンに、[機能の設定] メニューが表示されます。左/右を使うと上/下に移動し、機能を使うと入力/適用を使用できます。
- [機能を設定] メニューで [トグル] が選択されているとき、[機能] ボタンを押して通常/描画/安定を選択します。



**メモ:** 対話型ペンは、Windows マウスのプロパティ機能「第 1 ボタンと第 2 ボタンの切り替え」をサポートできません。

## リストストラップを使用する

リストストラップは対話型ペンを握る力が弱くなったときの安全対策として、対話型ペンやまわりの物体、他人を損傷させないようにするために使用してください。


1 コネクタバーからリストストラップにコードを通します。



2 手首にリストストラップを付けます。



# リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ:** 使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。




 **メモ:** 異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。




## 対話型ペンにバッテリーを取り付ける

 **メモ**：対話型ペンを長期間使用しないときは、ペンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリースロットのカバーを持ち上げます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

 **メモ**：バッテリーの寿命を延ばすために、2本の単3 1.5V アルカリバッテリーを使用するようにお勧めします。寿命はアルカリバッテリーのブランドやメーカーによって異なります。



3 バッテリースロットの極性マークに従ってバッテリーを挿入します。

 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。



4 バッテリーのスロットカバーを元に戻します。

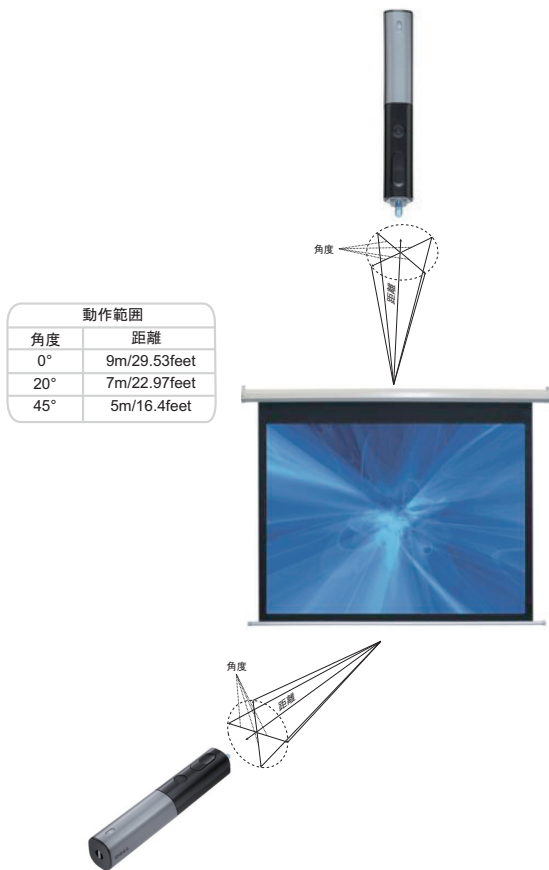


## リモコンの動作範囲



**メモ**：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンで 프로젝タを適切に操作できない原因となります。

## 対話型ペンの操作範囲



### メモ：

- プロジェクタは 100 インチの画像サイズ、輝度モードで、2000 lm の明るさがあります。
- 1つのプロジェクタに複数のペン（7個まで）を接続できますが、それを同時に使用することはできません。
- 実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。
- プロジェクタの明るさが衰えると、ペンの操作範囲に影響が及びます。



# オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンの [メニュー] ボタンを押して [メインメニュー] に入ります。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ▣ ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ▲ または ▼ ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの ◀ または ▶ ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、「戻る」タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの ▣ ボタンを押します。
- OSD を終了するには、「終了」タブに進み、▣ ボタンを押すか、または、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。

## メインメニュー



## 自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングを自動的に調整します。自動調整が進行中、次のメッセージがスクリーンに表示されます：

お待ちください

## 入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



**自動ソース** — オフ (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**を**オフ**に設定した状態で**ソース**ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。自動ソースが**オン**に設定された状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

**VGA-A** —  を押して VGA-A 信号を検出します。


**VGA-B** —  を押して VGA-B 信号を検出します。

**S ビデオ** —  を押して S ビデオ信号を検出します。

**コンポジットビデオ** —  を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

**HDMI** —  を押して HDMI 信号を検出します。

**多重ディスプレイ** —  を押して入力選択の多重ディスプレイメニューを起動します。

 **メモ:** [メインメニュー] のセットアップの下で「ワイヤレス/ネットワーク」機能を有効にした後、多重ディスプレイの下でワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア機能を使用できません。初期設定で、「ワイヤレス/ネットワーク」は、無効に設定されています。

**アドバンス** —  を押して入力選択の詳細設定メニューを起動します。

## 多重ディスプレイの入力選択

[多重ディスプレイの入力選択]メニューでは、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューアが有効になります。



**ワイヤレスディスプレイ**—を押してプロジェクトのワイヤレスガイド画面にアクセスします。ページ 70 の「ワイヤレスガイドスクリーン」を参照してください。

**USB ディスプレイ**—USB ケーブルを通して、プロジェクトでデスクトップ PC/ ノート PC のスクリーンを表示できます。77 ページの「USB ディスプレイドライバのインストール」をご覧ください。

**USB ビューア**—USB フラッシュから PtG ファイルに写真を表示できます。78 ページの「Presentation to Go (PtG) のインストール」をご覧ください。

## 入力選択の詳細設定

[ 入力選択の詳細 ] により、入力ソースの有効/無効を切り替えることができます。



**VGA-A**— および を使用して、VGA-A 入力の有効/無効を切り替えます。

**VGA-B**— および を使用して、VGA-B 入力の有効/無効を切り替えます。

**S ビデオ**— および を使用して、S ビデオ入力の有効/無効を切り替えます。

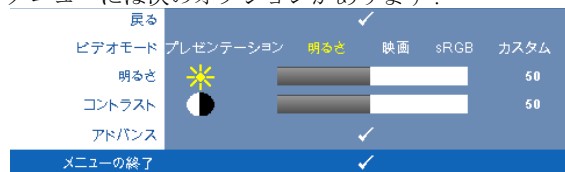
**コンポジットビデオ**— および を使用して、コンポジットビデオ入力の有効/無効を切り替えます。

**HDMI**— および を使用して、HDMI 入力の有効/無効を切り替えます。


**メモ**：現在の入力ソースを無効にすることはできません。常に、2 つ以上の入力ソースを有効にする必要があります。

## ピクチャ (PC モード)



ピクチャメニューを使って、プロジェクトの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：




**ビデオモード**—ディスプレイの画像を最適化します: **プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、**カスタム** (お好みの設定を設定します)。

 **メモ:** **明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

**明るさ**—やを使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト**—やを使ってディスプレイのコントラストを調整します。


**アドバンス**—を押して**ピクチャ拡張**メニューを起動します。49 ページの「高度なピクチャ」をご覧ください。

## ピクチャ (ビデオモード)



ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります:







**ビデオモード**—ディスプレイの画像を最適化します: **プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、**カスタム** (お好みの設定を設定します)。



 **メモ:** **明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。


**明るさ**—やを使って画像の明るさを調整します。


**コントラスト**—やを使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**彩度**—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を減らし、を押して色の量を増やします。

**鮮明度**—を押して鮮明度を下げ、を押して鮮明度を上げます。

**色合い**—を押して画像の緑色の量を増やし、を押して赤色の量を増やします (NTSC 用にのみ使用可能)。



**アドバンス** —  を押してピクチャ拡張メニューを起動します。以下の「高度なピクチャ」をご覧ください。

 **メモ**：彩度、鮮明度、色合いは、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

## 高度なピクチャ

[高度なピクチャ]メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。[高度なピクチャ]メニューには次のオプションがあります。



**白の強度** —  と  を使ってディスプレイの白の強度を調整します。

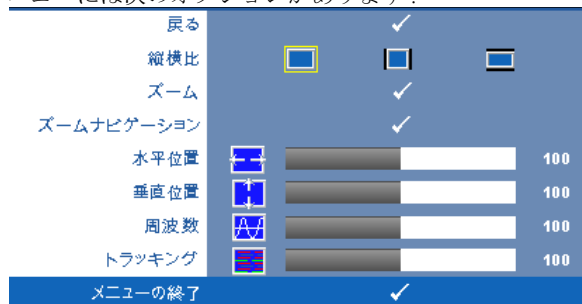
**色温度** — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

**カスタムカラー調節** — 赤、緑、青の色を手動で調整します。




**カラースペース** — カラースペースを選択できます。オプションには RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

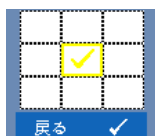
## 表示 (PC モード)


表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：




**縦横比** —アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。




-  元 — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
-  4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
-  ワイド — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。




**ズーム** — を押してズームメニューを起動します。

ズームする領域を選択し、 を押してズームされた画像を表示します。







 または  を押して画像の倍率を調整し、 を押して表示します。



**ズームナビゲーション** — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

**水平位置** — を押して画像を左へ移動し、 を押して画像を右へ移動します。




**垂直位置** — を押して画像を下へ移動し、 を押して画像を上へ移動します。

**周波数** —ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。




**トラッキング** —ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

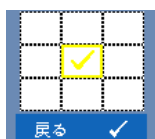
## 表示（ビデオモード）


表示メニューを使って、プロジェクトの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：


戻る		✓	
縦横比			
ズーム		✓	
ズームナビゲーション		✓	
メニューの終了		✓	

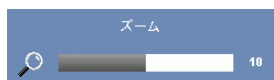
**縦横比** — アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。




-  元 — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
-  4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
-  ワイド — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。




**ズーム** —  を押してズームメニューを起動します。





ズームする領域を選択し、 を押してズームされた画像を表示します。



 または  を押して画像の倍率を調整し、 を押して表示します。



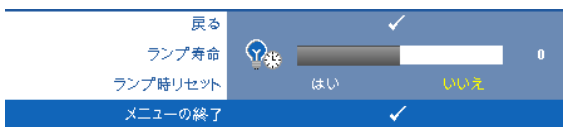
**ズームナビゲーション** —  を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。



## ランプ

ランプメニューには次のオプションがあります。

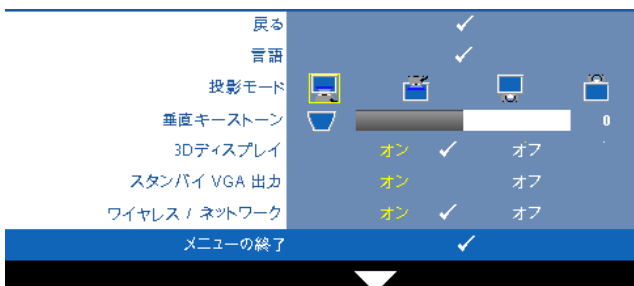


**ランプ寿命** —最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

**ランプ時リセット** —はいを選択して、ランプタイマーをリセットします。

## 設定





[設定]メニューでは言語、投影モード、垂直キーストーン、3Dディスプレイ、スタンバイVGA出力およびワイヤレス/ネットワークを設定します。




**言語**—OSD用の言語を設定します。[F4]を押して言語メニューを起動します。




**投影モード**—プロジェクトの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

-  フロントプロジェクションデスクトップ—これは初期設定オプションです。
-  フロントプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）—壁掛けで投影する場合に、プロジェクトが画像を上下逆にします。
-  リアプロジェクションデスクトップ—プロジェクトは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
-  リアプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）—プロジェクトは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過スクリーンの裏面から投影できます。

 **メモ:** 背面プロジェクタモードで、対話機能を有効にすることはお勧めできません。

**垂直キーストーン**—プロジェクトを傾けた場合の画像の垂直歪みを手動で調整します。

**3D ディスプレイ**—オンを選択して3Dディスプレイ機能を起動します。初期設定はオフです。

 **メモ:**

1. 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
  - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC
  - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
  - c 3D コンテンツ。「注 4」を参照してください。
  - d 3D プレーヤー。(例：ステレオプレーヤー ...)
2. 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：
  - a VGA または HDMI ケーブルにより 120Hz 信号で出力できるグラフィック スカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
  - b ビデオおよび S ビデオによる一連の 3D コンテンツの入力。
3. プロジェクタが上の入力のどれかを検出すると、「セットアップ」で 3D ディスプレイが有効になり -> 「3D ディスプレイ」OSD が機能します。
4. 現在の 3D サポート時間は以下のように示されます：
  - a VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz
  - b コンポジット /S ビデオ 60 Hz
  - c コンポーネント 480i
5. ノート PC/PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)



**3D 同期反転** —DLP 3D メガネをかけている間、離散的な画像または重なった画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

**スタンバイ VGA 出力** —オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。

**ワイヤレス/ネットワーク** —オンを選択すると、ワイヤレスとネットワーク機能が起動します。を押してワイヤレスとネットワーク設定を行います。

## ワイヤレス/ネットワーク

[ワイヤレス/ネットワーク]メニューでは、ネットワークの接続設定を設定します。

戻る	✓	
DHCPアドレス	オン	オフ
IPアドレス	192 . 168 . 4 . 137	
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	
ゲートウェイ	192 . 168 . 4 . 137	
DNS	192 . 168 . 1 . 4	
保存	✓	
ワイヤレス	接続 ✓	切断
リセット	✓	
メニューの終了	✓	

**DHCP アドレス**—DHCP サーバーがプロジェクトが接続されるネットワークに存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。  を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、 を使用して次の項目を設定します。

**IP アドレス**—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

**サブネットマスク**—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

**ゲートウェイ**—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**DNS**—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**保存**— を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。


### メモ:

- と  ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力して値を設定します。(選択したオプションは黄色でハイライトされます)
  - と  ボタンを使ってオプションを選択します。
  - と  ボタンを使って値を設定します。
  - セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。

3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップしたら、**保存**を選択し、 ボタンを押して設定を保存します。

4 設定を保存せずに終了を選択すると、前の設定が維持されます。

**ワイヤレス**—初期設定は [ 接続 ] です。[ 切断 ] を選択して LAN ネットワーキングのみを使用するワイヤレス接続を無効にします。

 **メモ**:ワイヤレス接続に対して初期設定を使用することをお勧めします。

**リセット**— を押して、ネットワーク設定をリセットします。

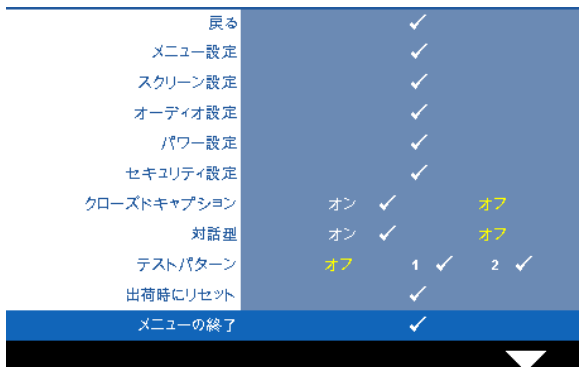
## 情報

[ 情報 ] メニューには、現在のプロジェクト設定が表示されます。

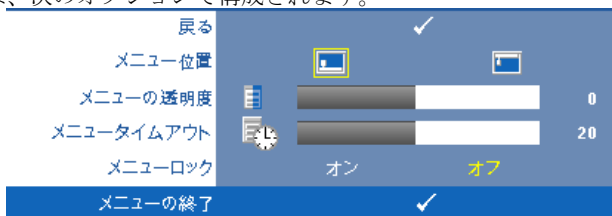
戻る	✓
モデル名	S300wi
入力ソース	アナログ RGB 1280X800 60Hz
オペレーション時	10 hr
PPID	CN-0XPXMF-S0081-46B-0208
IPアドレス	192.168.4.137
SSID	S300wi Interactive
メニューの終了	✓

## その他

[その他]メニューでは、メニュー、スクリーン、オーディオ、電源、セキュリティ、クローズドキャプション (NTSC のみ)、対話型を変更します。テストパターンと出荷時にリセットを実行することもできます。



**メニュー設定** —  を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。




**メニュー位置** — OSD メニューの画面上の位置を変更します。


**メニューの透明度** — OSD 背景の透明度レベルを変更します。

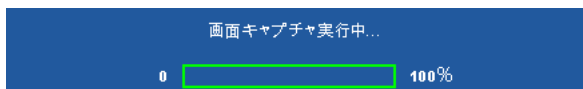
**メニュータイムアウト** — OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。


**メニューロック** — オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニューボタン** を 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

**スクリーン設定**—を選択して押して、画面設定を起動します。画面設定メニューは、次のオプションで構成されます。





**スクリーンキャプチャ**—を選択して押し画面ディスプレイをキャプチャすると、次のメニューメッセージが画面に表示されます。

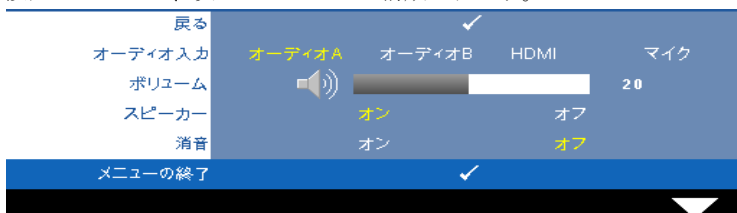


 **メモ**：フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1280 x 800 解像度であることを確認します。

**スクリーン**—Dell を選択し、壁紙として Dell ロゴを使用します。キャプチャー済 を選択し、壁紙としてキャプチャされた画像を設定します。

**リセット**—を選択して押しキャプチャされたピクチャを削除し、デフォルト設定に戻します。

**オーディオ設定**—を選択して押して、オーディオ設定を変更します。オーディオ設定メニューは、次のオプションで構成されます。



**オーディオ入力**—オーディオ入力ソースオーディオ入力ソースを選択します。オーディオ - A、オーディオ -B、HDMI、マイクのオプションがあります。

**ボリューム**—を押して音量を下げ、を押して音量を上げます。

**スピーカ**—オンを選択してスピーカを有効にします。オフを選択するとスピーカが無効になります。

**消音**—オーディオ入力とオーディオ出力のサウンドを消音にします。

**パワー設定**  を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューは、次のオプションで構成されます。

戻る				✓
省電力	オフ	30分	60分	90分
クイックシャットダウン		はい		いいえ
メニューの終了				✓

**省電力**—オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのキーボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は30分、60分、90分、120分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。省電力モードの間2時間入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

**クイックシャットダウン**—はいを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。



**メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

**セキュリティ設定**  を選択して押して、セキュリティ設定を起動します。セキュリティ設定メニューにより、パスワード保護を有効にしたり設定したりできます。

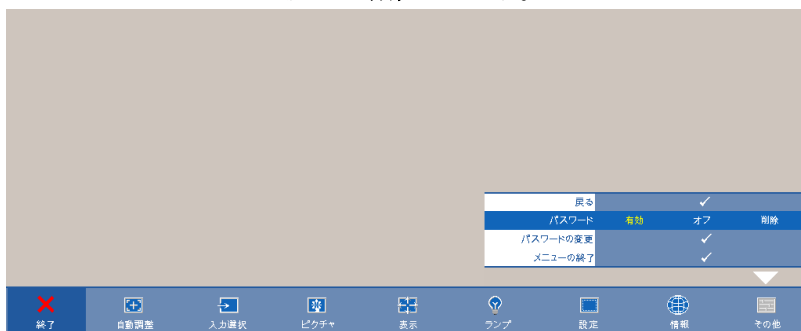
戻る			✓
パスワード	有効	オフ	削除
パスワードの変更			✓
メニューの終了			✓



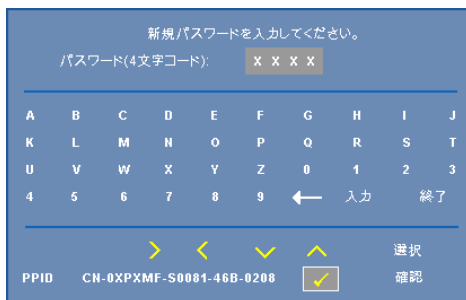
**パスワード**—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクトの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクトをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクトの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

**1 初回パスワード入力**の要請

- a** その他メニューに進み、を押して、次にパスワードを選択してパスワード設定を**有効**にします。



- b** パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4桁の番号を画面から入力してを押します。



- c** 確認のため、パスワードをもう一度入力します。  
**d** パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。

- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。



**メモ:**パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。

- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフ**を選択して機能を無効にします。
- 4 パスワードを削除するには、**削除**を選択します。

**パスワードの変更** 元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択

PPID CN-0XPXMF-S0081-46B-0208  確認

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択

PPID CN-0XPXMF-S0081-46B-0208  確認

新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード):


A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択

PPID CN-0XPXMF-S0081-46B-0208  確認


**クローズドキャプション** オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション、CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します。

戻る	✓
選択	<span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">CC1</span> <span style="padding: 2px;">CC2</span> <span style="padding: 2px;">CC3</span> <span style="padding: 2px;">CC4</span>
メニューの終了	✓

 **メモ:** クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できません。

**対話型** —オンを選択して対話を有効にし、対話メニューを選択状態にします。対話型メニューは、次のオプションで構成されます。



 **メモ:**

- 1 対話型ペンが接続されていることを確認してください。26 ページの「対話型ペンと接続する」をご覧ください。
- 2 対話型ペンは、次の環境では使用できません：
  - a 拡張モードの場合。
  - b 3D ディスプレイ機能が有効になっていて、120Hz 入力ソースがプロジェクタに接続されているとき。

**ポインタモーション (ポインタの動き)** —ポインタモーションモードを選択します。ノーマル、描画、安定。

 **メモ:**

- 1 ミニ USB-B または LAN ケーブルを使って、またはワイヤレス接続を通してコンピュータにプロジェクタを接続します。
- 2 双方向性は次の入力モードでのみサポートされます: PC から VGA と HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、LAN ディスプレイ

- **ノーマル** — ノーマルモードでは、対話型ペンの左ボタンを押すと短い時間ポインタの位置を保持することができます。このモードはマウスのような対話型ペンの使用つまり、左クリックとダブルクリック機能に適しています。
- **描画** — 描画モードでは、描画用にポインタを自由に動かすことができます。このモードは、スクリーンでの描画または記述に適しています。
- **安定** — 安定モードでは、対話型ペンの左ボタンを押し続けるとポインタの縦と横の動きを制限することができます。左ボタンを放すと、ポインタの自由な動きを再開できます。このモードは、スクリーンで縦または横の線を描画するのに適しています。

**クリック速度** — マウスの一時停止時間を設定できます。この機能は、ノーマルモードでのみ使用できます。使用可能なオプションは速い、ミディアム、低です。

- **速い** — ポインタモーションのフリーズ時間を最小の 0.5 秒に設定します。
- **ミディアム** — ポインタモーションのフリーズ時間中くらいの値、1.0 秒に設定します。
- **低** — ポインタモーションのフリーズ時間を最大の 1.5 秒に設定します。



**機能を設定** — 対話型ペンの機能ボタンの機能を設定できます。使用可能なオプション：トグル：ノーマル / 描画 / 安定、PowerPoint 注釈、ウィンドウの切り替え (Alt+Tab)、Esc、デスクトップの表示 (Cmd+D)、Windows エクスプローラを開く (Cmd+E)、ミドルマウス、ダブルクリック、オフにする (38 ページの「対話型ペンを使用する」を参照)。

機能を設定	トグル: 通常 / 描画 / 安定 PowerPoint 注釈 ウィンドウの切り替え (Alt+Tab) Esc デスクトップの表示 (Cmd + D) Windows エクスプローラを開く (Cmd + E) ミドルマウス ダブルクリック オフにする
-------	--



- **トグル：ノーマル / 描画 / 安定** — ノーマル、描画、安定モードの切り替えとして機能します。
- **PowerPoint 注釈** — PowerPoint スライドショーの注釈として機能します。



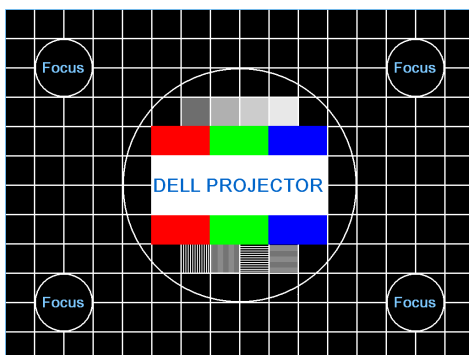
**情報** 一對話型ペンについての情報を表示します。

戻る	✓
バッテリー寿命	
RF強度	
チャンネル	1
ペンバージョン	P01
RFバージョン	R01
ペンPPID	CN-00JWYY-S0081-46B-0001
メニューの終了	✓

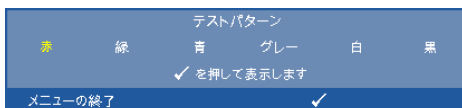
**テストパターン**—テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1または2を選択することで、**テストパターン**の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、**テストパターン1**を呼び起こすこともできます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、テストパターン2を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:




**出荷時にリセット**—を選択して押しすべての設定を出荷時デフォルトにリセットすると、以下の警告メッセージが表示されます。



コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。



# ワイヤレスネットワーキングのインストール

 **メモ**：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows 2000 with service pack 4 以降、Windows XP Home または Professional Service pack 2 32 ビット (推奨)、Windows Vista 32 ビット、Windows 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

**a** Intel Pentium III-800 MHZ 以上

**b** 256MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨。

**c** 10MB の空きハードディスク容量

**d** 800 x 600 16 ビットの high color または高解像度ディスプレイをサポートする Super VGA をサポートします (PC とディスプレイ)

**e** イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)

**f** WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) または 8.0、Firefox 1.5 または 2.0、および 3.0 と以上

프로젝터를ワイヤレスで使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 ワイヤレスアンテナを取り付けます。13 ページの「アンテナの取り付け」をご覧ください。
- 2 プロジェクターでワイヤレス接続を有効にします。56 ページの「ワイヤレス/ネットワーク」をご覧ください。

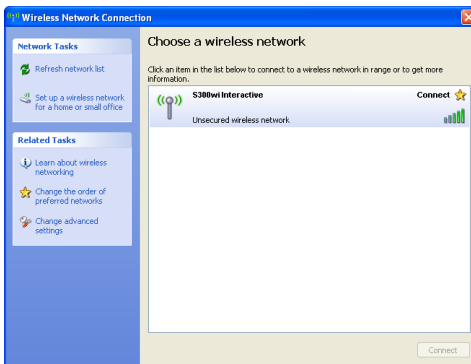


**メモ:** ワイヤレスを開始するとき、ワイヤレス/ネットワークが再起動するまで約 50 秒お待ちください。

- 3 [入力選択]メニューで、多重ディスプレイを選択してからサブメニューでワイヤレスディスプレイを選択します。46 ページの「入力選択」をご覧ください。ワイヤレスガイドスクリーンが以下に表示されます。:



- 4 認証コード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。
- 5 コンピュータを S300wi ネットワークに接続します。





### メモ：

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- S300wi ネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。

6 インターネットブラウザを開きます。S300wi Web 管理 web ページに自動的にジャンプします。



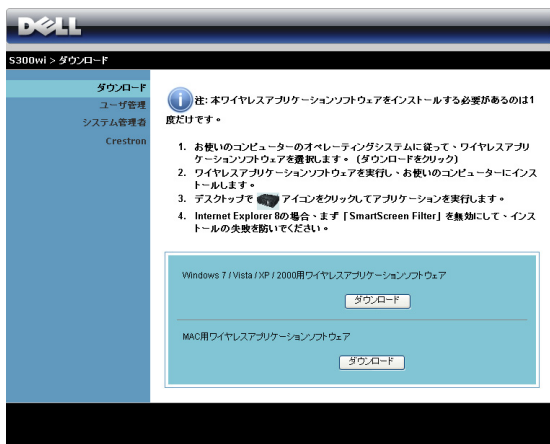
メモ：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタのスクリーンからメモした IP アドレスを入力してください。



7 S300wi Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、[ダウンロード] をクリックします。



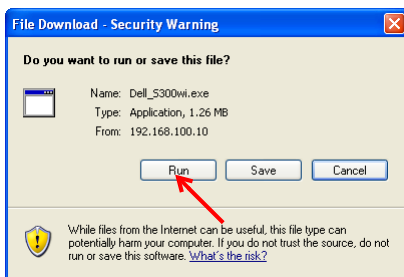
- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、[ダウンロード]をクリックします。



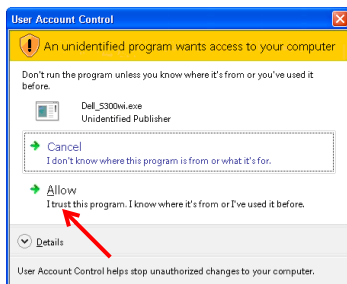
- 9 Run [ファイル名を指定して実行]をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。




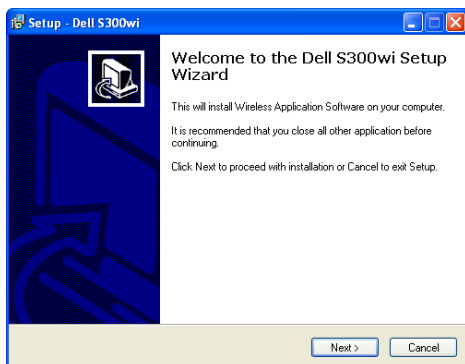
メモ: ファイルを保存して後でインストールを選択することができます。これを実行するには、Save [保存] をクリックします。



メモ: 次の警告メッセージが表示されたら、Run [ファイル名を指定して実行]と Allow [許可]をそれぞれ選択します。



-  **メモ**：コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 10** インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



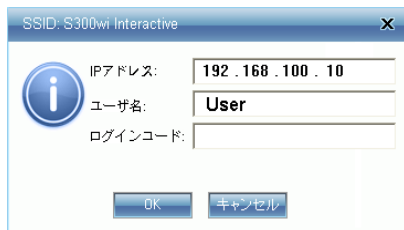
## S300wi ワイヤレスアプリケーションソフトウェア

インストールが完了すると、S300wi ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが起動し、プロジェクトを自動的に検索します。以下の画面が表示されます。




## ログイン

プロジェクトとコミュニケーションを取るには、「ワイヤレスネットワークのインストール」のステップ4で提供されたログインコードを入力し、[OK] をクリックします。















SSID: S300wi Interactive	X
IPアドレス:	192.168.100.10
ユーザ名:	User
ログインコード:	
OK	キャンセル

 **メモ** : IP アドレスが検出されない場合、画面左下に表示される IP アドレスを入力します。





## ボタンを理解する


ログインに成功すると、コンピュータスクリーンに次のメニューが表示されます。



項目	説明
1	<b>ステータスバー</b> IP とログインコード情報を表示します。
	<b>メニュー</b> このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	<b>最小化ボタン</b> このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
	<b>閉じるボタン</b> このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	<b>コントロールツールバー</b>
	<b>全画面</b> このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	<b>分割 1</b> このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	<b>分割 2</b> このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	<b>分割 3</b> このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	<b>分割 4</b> このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	<b>停止</b> このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	<b>一時停止</b> このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
	<b>更新</b> このボタンをクリックすると、投影された画像が更新されます。
3	<b>接続ステータス</b>
	<b>接続アイコン</b> 投影が進行中の時に点滅します。

## プレゼンテーションの投影

- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします。.
- プレゼンテーションを一時停止するには、をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、をクリックします。
- プレゼンテーションを停止するには、をクリックします。


 **メモ:** 次の情報は、ワイヤレスデータプレゼンテーションモード専用です。ビデオクリップやアニメーションを表示している場合、画像表示が遅くなったり、スムーズに表示できないことがあります。以下のフレームレートを参照してください。

## ワイヤレスプレゼンテーションのフレームレート


画面変動 % <sup>1</sup>	推定フレーム / 秒 <sup>2</sup>
<5 %	30 <sup>3</sup>
<10%	16 <sup>3</sup>
<20%	12 <sup>3</sup>
<40%	8 <sup>3</sup>
<75%	5 <sup>3</sup>
100%	3 <sup>3</sup>
> 100%	≤ 2 <sup>4</sup>

### **メモ:**

- 1 画面変動のパーセンテージは 1024 x 768 に基づいています。例えば、1024 x 768 デスクトップに 320 x 240 を表示する場合、画面変動は 9.8% です。
- 2 フレームレートの作動は、ネットワーク環境、画像コンテンツ、信号条件、場所、CPU パフォーマンスなどの要因によって異なります。
- 3 802.11g 接続を使用するクリーンな WLAN 環境下では、画面の伸縮はありません。
- 4 1024 x 768 に 802.11g の下で圧縮されます。

 **メモ:** ワイヤレス、USB ディスプレイおよび USB ビューアプレゼンテーションを実行しているとき、コンピュータは S1 (スタンバイモード) / S3 (スリープモード) / S4 (ハイパーネートモード) に入りません。

## メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。

Web Management	
Search for Projector	
Make Application Token	
<hr/>	
Info	
<hr/>	
About	
Exit	

**WEB MANAGEMENT (WEB 管理)**—このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。84 ページの「Web 管理からプロジェクタの管理」をご覧ください。

**SEARCH FOR PROJECTOR ( プロジェクタの検索 )**—このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクタを検索し、接続します。

**MAKE APPLICATION TOKEN (APPLICATION TOKEN ウィザード)**—このボタンをクリックしてアプリケーショントークンを作成します。103 ページの「アプリケーショントークンの作成」をご覧ください。

**INFO ( 情報 )**—このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

**ABOUT ( このソフトウェアについて )**—このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。


**EXIT ( 終了 )**—このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。



# USB ディスプレイドライバのインストール

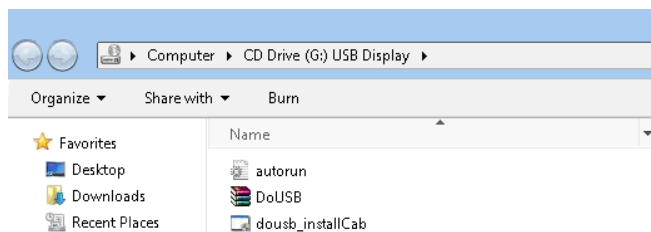
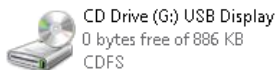
USB ディスプレイを使用するには、以下のステップを完了する必要があります。


- 1 プロジェクタでワイヤレス/ネットワーク接続を有効にします。56 ページの「ワイヤレス/ネットワーク」をご覧ください。

 **メモ:** ワイヤレスを開始するとき、ワイヤレス/ネットワークが再起動するまで約 50 秒お待ちください。


- 2 USB ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。17 ページの「USB ディスプレイを使ったコンピュータの接続」をご覧ください。
- 3 [入力選択] メニューで、多重ディスプレイを選択してからサブメニューで USB ディスプレイを選択します。46 ページの「多重ディスプレイの入力選択」をご覧ください。
- 4 このモードを初めて使用するとき、プロジェクタはインストールする次のドライバを自動的に表示します。CD ドライブで「dousb\_install.Cab」をクリックして、手動インストールを開始します。

## ▸ Devices with Removable Storage (2)




 **メモ:** 「AutoPlay」インストールウィンドウがポップアップ表示されたら、このウィンドウを閉じてください。

- 5 リモート NDIS ドライの初めてのインストールが開始されます。

 **メモ:**

- 警告メッセージが表示されても、無視してインストールを行ってください。
  - ソフトウェアのインストールにアクセスするには、管理者レベルが必要になります。
- 6 USB ケーブルを通してコンピュータスクリーンの表示を開始します。

 **メモ:** コンピュータがスタンバイまたはハイバネーションモードから再開されると、USB を通したディスプレイも自動的に再開されます。自動的に再開できない場合、USB ケーブルを抜いてからまた差し込む必要があります。

# Presentation to Go (PtG) のインストール

PtG をインストールするためのシステムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP Home または Professional Service pack 2/3 32 ビット (推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- Office 2003 と Office 2007

USB ビューアを使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 プロジェクタでワイヤレス/ネットワーク接続を有効にします。56 ページの「ワイヤレス/ネットワーク」をご覧ください。



**メモ：**ワイヤレスを開始するとき、ワイヤレス/ネットワークが再起動するまで約 50 秒お待ちください。

- 2 USB フラッシュをプロジェクタに差し込みます。



**メモ：**

- 10Mb 40M ピクセル内の、JPEG 形式の写真のみをサポートします。
- PtG コンバータは、PowerPoint ファイルを PtG ファイルに変換することができます。82 ページの「PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア」をご覧ください。
- 「PtG Converter—Lite」は、Dell サポートサイト：[support.dell.com](http://support.dell.com) からダウンロードできます：[support.dell.com](http://support.dell.com)

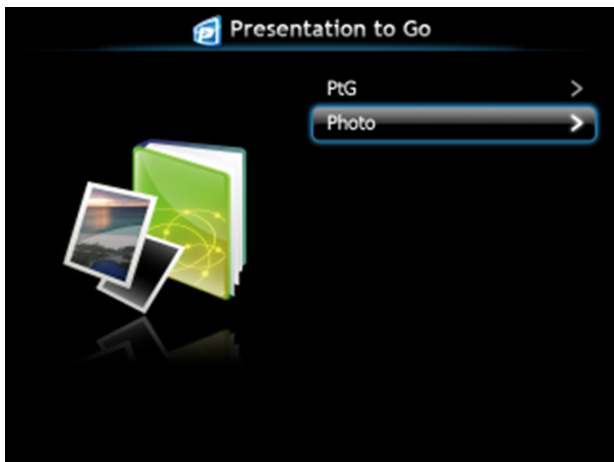
- 3 [入力選択] メニューで、多重ディスプレイを選択してからサブメニューで USB ディスプレイを選択します。46 ページの「多重ディスプレイの入力選択」をご覧ください。Presentation to Go Screen が表示されます。

## PtG ビューア

準備ができると、このページが表示されます。




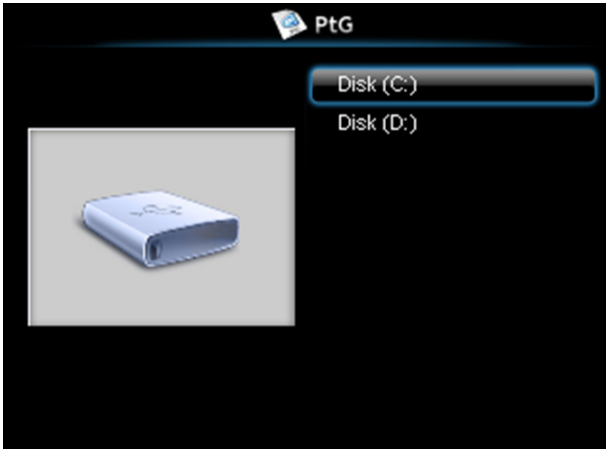
## 写真ビューア



## PtG/ 写真機能の概要

USB ディスクに保存された PtG と写真ファイルを表示します。

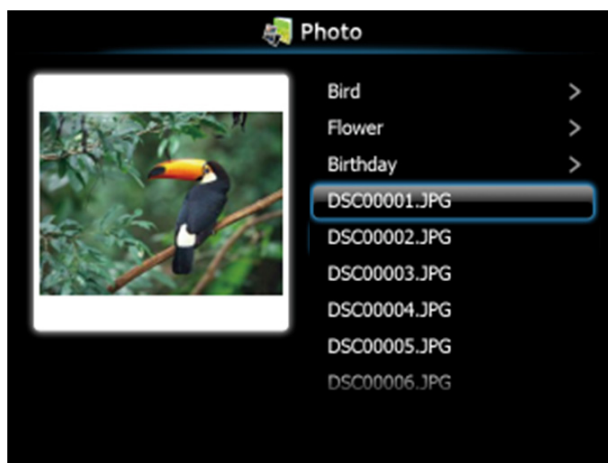
 **メモ:**1つしかディスクが検出されないと、このステップをスキップします。




## PtG 概要




## 写真概要




 **メモ** : 14 の言語の写真ファイル名形式をサポートします (@\*γ: 英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、朝鮮語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語)。

## ボタンの概要

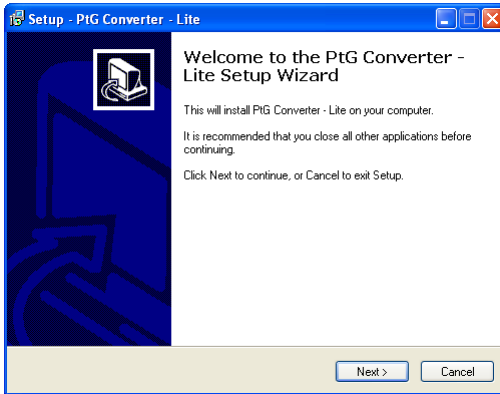
上、下および左ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクトのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを使って選択します。

ボタン	上 	ダウン 	左 	右 	エンター 
PtG 機能	上	下	戻る	機能なし	入力
PtG 再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	次の一時停止
写真機能	上	下	戻る	機能なし	入力
写真再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	機能なし

 **メモ** : PtG を使用している間 OSD に入る場合、上、下および左ボタンによる PtG ナビゲーションは機能しません。

## Setup PtG Converter - Lite


スクリーンの指示に従って、セットアップを完了してください。

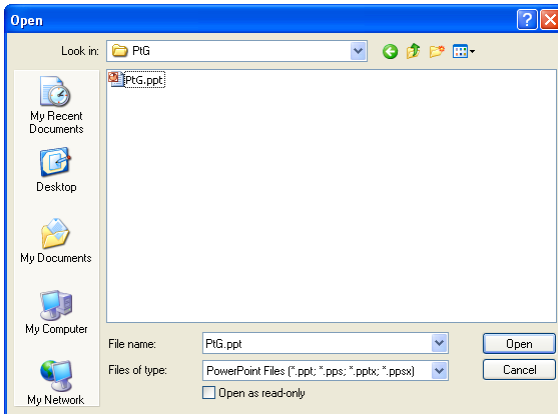


## PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア

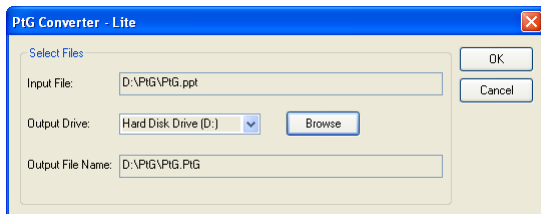
「PtG Converter - Lite」を起動してください。以下の画面が表示されます。



- 1  をクリックして変換を開始します。
- 2 変換する PowerPoint ファイルを選択します。



- 3 [参照] ボタンをクリックして保管場所を選択し、[OK]を押します。



**メモ：**

- 1 コンピュータに MS PowerPoint がインストールされていないと、ファイル変換はできません。
- 2 PtG コンバータは、20 ページまでサポートします。
- 3 PtG は、ppt ファイルの .PtG ファイルへの変換のみをサポートします。

# Web 管理からプロジェクトの管理

## ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、56 ページの「ワイヤレス/ネットワーク」を参照してください。

## Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Firefox 1.5 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

## ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。56 ページの「ワイヤレス/ネットワーク」をご覧ください。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。



## ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロード

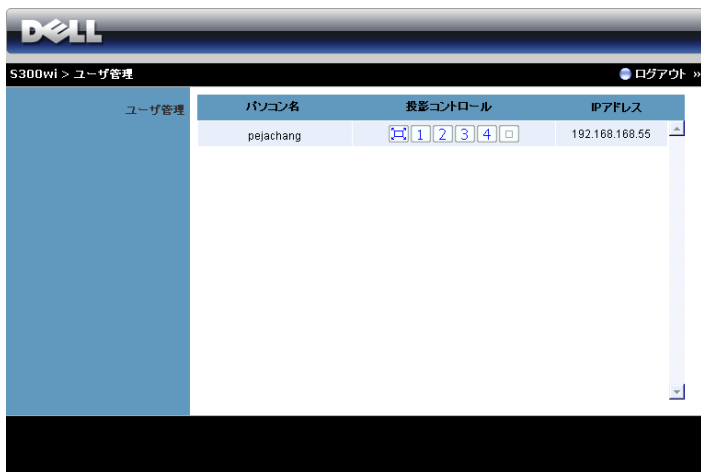
69 ページの「ワイヤレスネットワークキングのインストール」を参照してください。

The screenshot shows a Dell website page for downloading software. At the top left is the Dell logo. Below it, the text 'S300wi > ダウンロード' is visible. A left-hand navigation menu includes 'ダウンロード', 'ユーザ管理', 'システム管理者', and 'Crestran'. The main content area features an information icon (i) followed by a note: '注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。' Below this is a numbered list of four steps: 1. Select the OS from the dropdown; 2. Click the download button; 3. Click the desktop icon; 4. For Internet Explorer 8, disable SmartScreen Filter. At the bottom, there are two download buttons: 'ダウンロード' for 'Windows 7 / Vista / XP / 2000用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア' and another 'ダウンロード' for 'MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア'.

コンピュータの対応するオペレーティングシステムの [ダウンロード] ボタンをクリックします。

## ユーザ管理

これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



**メモ:** 会議撮影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

**パソコン名:** 会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

**投影コントロール:** ボタンをクリックして、各コンピュータの投影が画面に表示される方法を制御します。

- 全画面投影 — コンピュータからのプレゼンテーションが画面全体に占められます。
- 1 分割1 — コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
- 2 分割2 — コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
- 3 分割3 — コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
- 4 分割4 — コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
- 停止 — コンピュータからの投影が停止します。

**IP アドレス:** 各コンピュータの IP アドレスを表示します。

**メモ:** 会議を終了するには、[ログアウト]をクリックします。

## プロジェクトの管理

### システム管理者

S300wi > システム管理者


ダウンロード	
ユーザ管理	
システム管理者	
Crestron	

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-DXPXMF-80081-925-0000	


管理ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、92 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

## 状態



S300wi > システム管理者 > 状態 ● ログアウト >>

状態	<b>ネットワーク状態</b>	
ネットワークセットアップ	IP アドレス	192.168.3.68
投影セットアップ	サブネットマスク	255.255.255.0
パスワードの変更	デフォルトゲートウェイ	192.168.3.254
出荷時状態に戻す	MACアドレス	11:22:33:44:55:66
ファームウェア更新	<b>接続状態</b>	
プロジェクタのコントロールパネル	投影状態	投影待ち中
アラート設定	ユーザー数	0
 再起動	<b>プロジェクターの状態</b>	
	モデル名	S300wi
	プロジェクタ名	D07987
	場所	
	連絡先	
	ステータス	オン
	ランプ時間	0 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態 情報を表示します。

## ネットワーク状態

ページ 56 の OSD セクションを参照してください。

S300wi > システム管理者 > ネットワークセットアップ ● ログアウト

状態

- ネットワークセットアップ
- 設置セットアップ
- パスワードの変更
- 出荷時状態に戻す
- ファームウェア更新
- プロジェクトのコントロールパネル
- アラート設定
- 再起動

**IP セットアップ**

IPアドレスを自動的に取得  
 次の IP アドレスを使用する

IPアドレス	192	168	100	10
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
DNSサーバー	192	168	100	10

**DHCP セットアップ**

自動  無効

開始IPアドレス	192	168	100	11
終了IPアドレス	192	168	100	254
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
DNSサーバー	192	168	100	10

**無線セットアップ**

無線LAN  有効  無効

地域 -----WORLDWIDE-----

SSID S300wi Interactive

SSIDブロードキャスト  有効  無効

チャンネル 自動

Encryption 無効

キー

**RADIUS セットアップ**

IPアドレス	192	168	100	10
ポート	1812			
キー				

**GateKeeper**

全て開放  全て遮断  インターネットのみ開放

**SNMP** に対してセキュリティタイプを設定します

書き込みコミュニティ

適用 キャンセル

### IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てる、または次の IP アドレスを使用する IP アドレスを手動で割り当てるを選択します。

### DHCP セットアップ

- [自動] を選択して DHCP サーバから [開始 IP アドレス]、[終了 IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー] アドレスを自動的にセットアップするか、[無効] を選択してこの機能を無効にします。

### 無線セットアップ

- [有効] を選択して [地域]、[SSID]、[SSID ブロードキャスト]、[チャンネル]、[Encryption]、[キー] をセットアップします。[無効] を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID: 最大 32 の文字長。

**Encryption:** WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

**キー:** 暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

### RADIUS セットアップ

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

### GateKeeper

- 3 つのオプションがあります。

**全て開放:** ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

**全て遮断:** ワイヤレスプロジェクトを介したオフィスのすべてのネットワークへのアクセスをブロックします。

**インターネットのみ開放:** ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

### SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

[ 適用 ] ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

## 投影セットアップ

投影セットアップ	解像度	WXGA (1280x800)
	色数	High (32 bit)
	認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
プロジェクトのセットアップ	モデル名	S300wi
	プロジェクト名	D07987
	場所	<input type="text"/>
	連絡先	<input type="text"/>

再起動

適用 キャンセル

### 投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) と WXGA (1280 x 800)。
- **色数**：より鮮明なプレゼンテーションを行うために、色数を選択します。オプション：標準 (16 ビット) と 高 (32 ビット)。
- **認証コード**：プロジェクトでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
  - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
  - **ランダム**：初期設定は [ランダム] です。ログインコードはアトラダムに生成されます。
  - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

### プロジェクトのセシトアシブ

- **モデル名、プロジェクト名、場所、連絡先**情報を設定します (各フィールドに対して最大 21 文字)。

[適用] ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

## パスワードの変更

S300wi > システム管理者 > パスワードの変更

● ログアウト »

ステータス  
ネットワークセットアップ  
設定セットアップ  
パスワードの変更  
出荷時状態に戻す  
ファームウェア更新  
プロジェクトのコントロールパネル  
アラート設定

再起動

システム管理者

新しいパスワード	<input type="password"/>	適用
パスワード再入力	<input type="password"/>	

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**: 新しいパスワード。
- **パスワード再入力**: パスワードを再入力して、[ 適用 ] をクリックします。



**メモ**: 管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。



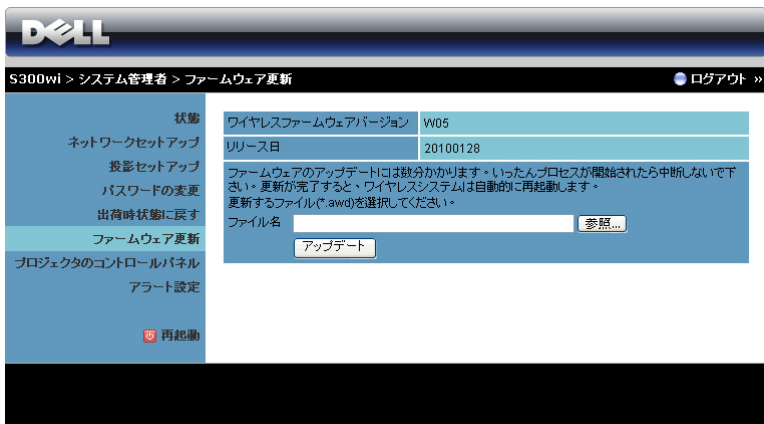
## 出荷時状態に戻す

The screenshot shows the Dell S300wi system management interface. At the top, the Dell logo is visible. Below it, the breadcrumb navigation reads 'S300wi > システム管理者 > 出荷時状態に戻す'. A 'ログアウト' button is in the top right corner. On the left, a navigation menu lists various settings: '状態', 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更', '出荷時状態に戻す' (highlighted), 'ファームウェア更新', 'プロジェクトのコントロールパネル', and 'アラート設定'. At the bottom of the menu is a '再起動' button with a red square icon. The main content area has a light blue background with a warning icon (a yellow triangle with an exclamation mark) and the text '出荷時状態に戻す' followed by 'これで、ワイヤレスネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。' Below this text is a '適用' button.

[適用] ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

## ファームウェア更新

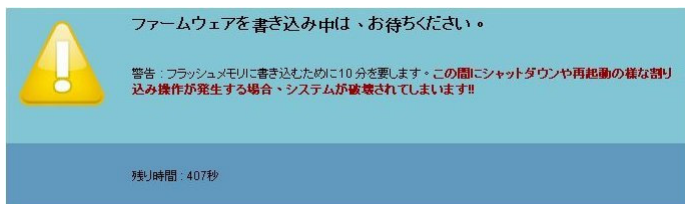
ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。



**メモ:** ファームウェアアップグレードが成功した後、OSD を使ってワイヤレス/ネットワークの無効/有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 [参照] を押して更新するファイルを選択します。
- 2 [アップデート] ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



**警告:** 更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 3 更新が完了したら、[確認] をクリックします。



## プロジェクタのコントロールパネル

DELL

S300wi > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル ● ログアウト >

状態  
ネットワークセットアップ  
投影セットアップ  
パスワードの変更  
出荷時状態に戻す  
ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル  
アラート設定

再起動

### プロジェクト情報

プロジェクトの状態	オン	リフレッシュ
省電力	120分	電源オン 電源オフ
アラート状態	よい	クリア

### イメージ制御

操作モード	フロントプロジェクションデスクトップ
ソース選択	USB Viewer
ビデオモード	プレゼンテーションモード
何もつけない画面	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
縦横比	<input checked="" type="radio"/> 元 <input type="radio"/> 4:3 <input type="radio"/> Wide
明るさ	50 (0-100) 設定
コントラスト	50 (0-100) 設定

自動調整

### オーディオ管理

オーディオ入力	オーディオA
ボリューム	13 (0-20) 設定
スピーカー	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ

出荷時にリセット

### プロジェクト情報

- **プロジェクターの状態** ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップの5つのステータスがあります。[リフレッシュ] ボタンをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力** 省電力はオフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、60ページの「省電力」を参照してください。
- **アラート状態** 3つのステータスがあります。ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、[クリア] ボタンをクリックして警報状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

## イメージ制御

- **操作モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。投影モードには、フロントプロジェクションデスクトップ、フロントプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）、リアプロジェクションデスクトップ、リアプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）の4つのモードがあります。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、Sビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USBディスプレイ、USBビューアから選択できます。
- **ビデオモード** プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
  - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。
  - **明るさ**：最大の明るさとコントラスト
  - **映画**：映画と写真の表示用です。
  - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
  - **カスタム**：お好みの設定です。
- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**：アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

[ **自動調整** ] ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

## オーディオ管理

- **オーディオ入力**：入力ソースを選択します。オプション：オーディオ-A、オーディオ-B、HDMI、マイクのオプションがあります。
- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値（0～20）を選択します。
- **スピーカー**：「オン」を選択してオーディオ機能を有効にしたり、オフを選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

[ **出荷時にリセット** ] ボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

## アラート設定

DELL	
S300wi > システム管理者 > アラート設定 <span style="float: right;">● ログアウト &gt;&gt;</span>	
状態 ネットワークセットアップ 投影セットアップ パスワードの変更 出荷時状態に戻す ファームウェア更新 プロジェクトのコントロールパネル アラート設定	<b>Eメールアラート</b>
	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 <span style="float: right;">メール警報テスト</span>
	宛先 <input type="text"/>
	Cc <input type="text"/>
	発信元 <input type="text"/>
	件名 <input type="text" value="S300wi-D07967 アラート"/>
	<b>SMTP設定</b>
	送信SMTPサーバ <input type="text"/>
	ユーザー名 <input type="text"/>
	パスワード <input type="password"/>
<b>警報条件</b>	
<input type="checkbox"/> ランプ警告	
<input type="checkbox"/> ランプ寿命が短くなっています	
<input type="checkbox"/> 温度警告	
<input type="button" value="保存"/>	

### E メールアラート

- E メールアラート：E メールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- 宛先 /Cc/ 発信元：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先 /Cc）の E メールアドレスを入力できます。
- 件名：Eメールの件名を入力できます。

[E メールアラート] ボタンをクリックして E メール警報設定をテストします。

### SMTP 設定

- 送信 SMTP サーバ、ユーザー名およびパスワードはネットワーク管理者または MIS から提供される必要があります。

### 警報条件

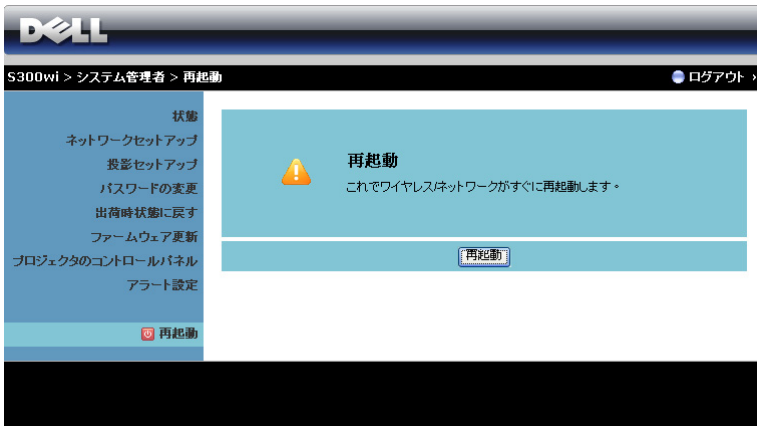
- E メールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、E メールが受信者（宛先 /Cc）に送信されます。

[保存] ボタンをクリックして設定を保存します。



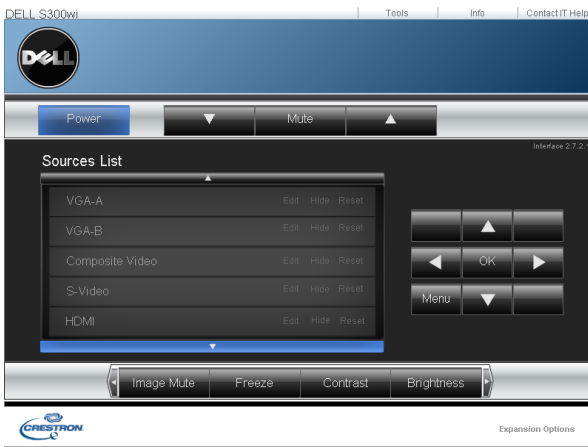
**メモ**：電子メールアラートは、デフォルトの 25 ポートを使う標準の SMTP サーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証 (SSL または TLS) はサポートしません。

## 再起動



[再起動] をクリックすると、システムが再起動します。

## Crestron



Crestron 機能の場合。

## ヒント:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 [コントロールパネル] → [インターネットオプション] → [全般][タブ] → [インターネット一時ファイル] → [設定] → 選択 [ページへのすべての訪問者] を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用しません
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用しません

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ/ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ/ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

---

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして [test@dell.com](mailto:test@dell.com) を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、[test@dell.com](mailto:test@dell.com) アカウント情報を使用する必要もあります。

---

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

---



## ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q: Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A: コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

---

### ファイアウォール保護 設定

#### McAfee セキュリティセンター

- 1 McAfee セキュリティセンターを起動します ([スタート] > [すべてのプログラム] > [McAfee] > [McAfee セキュリティセンター])。
- 2 [パーソナルファイアウォールプラス] タブで、インターネットアプリケーションリストを表示リストをクリックします。
- 3 リストから Dell S300wi プロジェクタを検索し、選択します。
- 4 その [許可] カラムを右クリックします。
- 5 ポップアップメニューから [完全アクセスを許可] を選択します。

---

#### Norton AntiVirus

- 1 Norton AntiVirus を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Norton AntiVirus] > [Norton AntiVirus])。
  - 2 [オプション] メニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。
  - 3 [ステータス] ページで、インターネットワーム保護を選択します。
  - 4 プログラムのリストから Dell S300wi プロジェクタを検索し、選択します。
  - 5 その [インターネットアクセス] カラムを右クリックします。
  - 6 ポップアップメニューから [すべて許可] を選択します。
  - 7 OK をクリックします。
-

---

## ファイアウォール保護 設定

### Sygate パーソナルファイアウォール

- 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます ([ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ Sygate ] > [ Sygate パーソナルファイアウォール ])。
- 2 **アプリケーションの実行** リストから、Dell S300wi プロジェクタを検索して右クリックします
- 3 ポップアップメニューから [許可] を選択します。

---

### Windows ファイアウォール

- 1 Windows 機能を開きます ([ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ コントロールパネル ])。[Windows ファイアウォール] をダブルクリックします。
- 2 [全般] タブで、[例外を認めない] のチェックを外します。
- 3 [例外] タブで、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。
- 4 プログラムのリストから Dell S300wi プロジェクタを検索し、選択したら、[OK] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックして、例外設定を確認します。

---

### ゾーンアラーム

- 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます ([ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ ゾーンラボ ] > [ ゾーンラボセンター ])。
  - 2 [プログラム制御] ページで、リストから Dell S300wi プロジェクタを検索し、選択します。
  - 3 その [アクセス - 信頼] カラムを右クリックします。
  - 4 ポップアップメニューから [許可] を選択します。
  - 5 [アクセス - インターネット]、[サーバー - 信頼]、および [サーバー - インターネット] カラムで [許可する] を右クリックし、選択します。
-

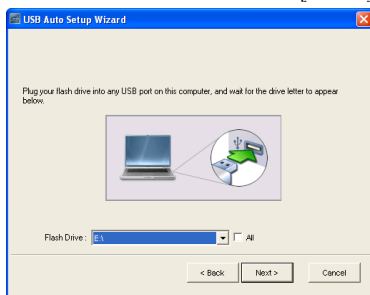
# アプリケーショントークンの作成

[アプリケーショントークン]では、USB トークンを使用して [プラグおよび表示] を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアから、 > Make Application Token [アプリケーショントークンの作成] をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。Next [次へ] をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、Next [次へ] をクリックします。



- 4 Finish [終了] をクリックしてウィザードを閉じます。

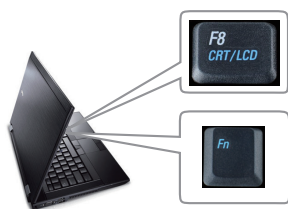


# プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせはページ 119 をご覧ください)。





## 問題

画面に画像が表示されない



## 解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- [入力ソース]メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。12 ページの「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (111 ページの「ランプの交換」をご覧ください)。
- テストパターンメニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
入力ソースが見つかりません。特定の入力ソースに切り替えることができません	[ 高度なソースの有効/無効 ] に進み、特定の入力ソースが [ 有効 ] に設定されていることを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない	<p><b>1</b> リモコンまたはコントロールパネルの <b>自動調整</b> ボタンを押します。</p> <p><b>2</b> Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) または XGA (1024 x 768) に設定します。</p> <p><b>a</b> Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、<b>プロパティ</b> をクリックし、<b>設定</b> タブを選択します。</p> <p><b>b</b> 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。</p> <p><b>c</b>   (Fn+F8) を押します。</p> <p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。</p> <p>Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。</p>
画面にプレゼンテーションが表示されない	ノートパソコンをお使いの場合は、   (Fn+F8) を押します。
画像が不安定、または、ちらつく	OSD <b>表示</b> サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。
画像に縦線が入る	OSD <b>表示</b> サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。
画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD <b>表示</b> タブで信号の種類を <b>RGB</b> に設定してください。</li> <li><b>テストパターンメニューのその他</b> を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。</li> </ul>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</li> <li>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (49.99 cm [0.5 m] ~ 330.10 cm [3.3 m])。</li> </ol>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の<b>設定</b>メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	<p>OSD で <b>設定</b> を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、111 ページの「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合は、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと Power LED がオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび<b>温度</b>ライトがオレンジ色で点滅し、<b>電源</b>ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。保護モードを消去するには、[電源] ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
温度ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
<p>温度 ライトがオレンジ色で点滅</p>	<p>プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>
<p>OSD が画面に表示されない</p>	<p>パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押しして OSD のロックを解除します。ページ 58 で <b>メニューロック</b> を確認します。</p>
<p>リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない</p>	<p>電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。</p>
<p>ペンを使用したり接続することはできません</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力ソースが PC (VGA、HDMI、ワイヤレス、LAN ソース) であるかどうか、確認してください</li> <li>• 対話型機能がオンになっていることを確認してください。(メニュー-&gt; その他-&gt; 対話型)</li> <li>• 接続オプションが正しく設定されていることを確認してください。(メニュー-&gt; その他-&gt; 対話型-&gt; 接続)</li> <li>• ワイヤレスまたは LAN 接続を使用していてペンが作動しない場合、ワイヤレス/ネットワーク機能がオンになっているかどうかを確認してください。(メニュー-&gt; セットアップ-&gt; ワイヤレス/ネットワーク)</li> <li>• ワイヤレスまたは LAN 接続を使用しているとき、Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが接続されていることを確認してください。(全画面モード出力のみサポート)。</li> <li>• 電話センサーがスクリーンの方を向いているかどうかを確認してください。</li> <li>• 複数のペンがスクリーンの方を同時に指していると、どれも機能しません。</li> <li>• 呼び起こすにはどれかのキーを押します (ニブボタン以外)</li> </ul>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
LED が機能しない	<p><b>a</b> バッテリーが取り付けられているかどうか確認してください。</p> <p><b>b</b> バッテリーが正しく取り付けられているかどうか確認してください。</p> <p><b>c</b> バッテリーが残量がなくなっていないかどうか確認してください。</p>
黄色の LED が点灯する	バッテリー残量が残り僅かなっている場合、新しいバッテリーに交換してください。
緑の LED が点灯するが、カーソルが動かず、プロジェクタのスクリーンに「USB 接続を検出できません」というメッセージが表示される	ミニ USB が接続されているかどうか、確認してください。
対話型機能を選択できない	PC (VGA、HDMI、ワイヤレス、LAN ソース) 入力ソースがあるかどうか、確認してください。
3D ソースでペンを使用できない	<p><b>a</b> 3D ソースはサポートされていません。</p> <p><b>b</b> 120 Hz の出力信号はサポートされていません。</p>
コンポジットビデオまたは S ビデオソースでは、ペンを使用できない	コンポジットビデオまたは S ビデオはサポートされていません。
ニブを使用できない	ニブが摩滅している場合、新しいニブと交換してください。
USB ディスプレイを使用しているとき、ワイヤレス USB 機能を使用できるか?	USB 機能はサポートされていません。



# ガイド信号

プロジェクト ステータス	説明	コントロール ボタン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイ モード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームアップ モード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 ■ <b>メモ</b> : OSD メニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2時間以内に入力信号が検出されないと、プロジェクトは自動的にスタンバイモードになります。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ
省電力モード 前の冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ
プロジェクト が過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35°C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライ バが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障 しています	ファンの一つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライ バが故障して います	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイール が故障して います	カラーホイールが故障しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅

ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色点滅

# 対話型ペン LED 誘導信号

ペンステータス	説明	インジケータ		フローとアイテム/時間のチェック
		緑色	黄色	
通常モード	ペンはスクリーンを向いて、リンクされています。	オンで点灯	オフ	
スタンバイモード	ペンは画面を向いていないが、リンクされています。	点滅 0.1 秒オン/1 秒オフ	オフ	3 分後にスリープモードに入ります。
AP を検出し、ペアリングに入る	AP を検出し、ペアリングモードに入ります	点滅	点滅	黄色で 1 回点滅し、次に緑色で 1 回点滅、そして両方ともオフになります。
検索モード	チャンネルを検索しているとき信号が得られないとき、LED の緑色と黄色が 1 回点滅します。	点滅 0.1 秒	点滅 0.1 秒	チャンネルを検索しているとき信号が得られないとき、LED の緑色と黄色が 1 回点滅します。
スリープモード	省電力の目的でスリープモードに入ります。	オンで点灯 3 秒	オンで点灯 3 秒	<ul style="list-style-type: none"> <li>リンクがあってペンを使用しているとき、対話型機能を OSD メニューでオフに設定する：5 秒後にスリープモードに入ります。</li> <li>ペンはスクリーンを向いていないが、リンクされている：3 分後にスリープモードに入ります。</li> <li>バッテリーを再び装着して再起動するか、まずリセットします。リンクなしで AP チャンネルを 3 サイクル検索すると、スリープモードに入ります。</li> </ul>
リセット	ペアリングがリンクに失敗すると、自動的にリセットされます。	点滅	点滅	緑色と黄色の LED が交互に点滅します。合計、3 回点滅します。
バッテリー残量残り僅か機能	ペンのバッテリー残量が残り僅かになっています。2 時間後、バッテリーは完全に残量がなくなります。	オフ	点滅 1 秒オン、1 秒オフ	MSP430 は、通常の操作でバッテリー機能をチェックします。バッテリー機能が低下している場合、このアラート LED 信号が表示されます。 <b>メモ:</b> ペンが対話型スクリーンを向いているときのみ、この信号が表示されます。
バッテリーが完全になくなり、PB を実行できない。	写真センサーと RF モジュールが適切に作動できません。ペンが正常に機能できません。	オフ	オンで点灯	ペンのバッテリー残量がなくなっています。電源は MSP430 でのみ適用されます。アラート LED は省電力のために 1 分間表示され、その後スタンバイモードに入ります。このステータスでペンを使用することはできません。 <b>メモ:</b> ペンが対話型スクリーンを向いているときのみ、この信号が表示されます。

## ランプの交換

**⚠ 警告：**この章で説明する交換処理の前に、ページ 10にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します：ランプを交換します。問題が解消しない場合は Dell・までお問い合わせください。詳しくは、「Dell・へのお問い合わせ」 ページ 119 をご覧ください。

**⚠ 警告：**オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

**⚠ 警告：**ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

**⚠ 警告：**電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

**⚠ 警告：**ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは [www.dell.com/hg](http://www.dell.com/hg) をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

**✍ メモ：**Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。


- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。



9 OSD ランプタブにあるランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします ( ページ 53 の [ ランプ ] メニューを参照してください )。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



**警告：ランプの廃棄（米国のみ）**

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、[WWW.DELL.COM/HG](http://WWW.DELL.COM/HG)、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト [WWW.EIAE.ORG](http://WWW.EIAE.ORG) をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については [WWW.LAMPRECYCLE.ORG](http://WWW.LAMPRECYCLE.ORG) をご覧ください。

## 仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	2200 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2400:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	80% 標準 (日本規格 — JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1280 x 800 (WXGA)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/2.8 焦点距離、f=7.2 mm 固定 投影比 =0.521 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	44.6-294 インチ (対角線)
投影距離	1.64~10.83 ft (0.5 m~3.3 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ/S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由) 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hz、PFC 入力付き
消費電力	通常モード : 256W ± 10% @ 110Vac (ワイヤレスとネットワークオン) 省電力モード : <20W (ワイヤレスとネットワークオン、最低のファン 速度) スタンバイモード : <1W (ネットワークオフおよび VGA_OUT オフおよび ワイヤレスオフ)

オーディオ	スピーカー x1、1 W RMS
ノイズレベル	33 dB +/- 2 dB(A)
質量	6.9 lbs (3.13 kg) +/- 0.05 lbs
ペンの重さ	0.14 lbs (65 g) +/- 0.01 lbs ( ノンバッテリーを含まず )
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	12 x 3.9 x 9.7 インチ (306 x 99 x 246.5 mm)
プロジェクタ	



寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	6.94 x 1.24 x 0.98 インチ (176.2 x 31.5 x 25 mm)
対話型ペン	



環境条件	動作温度 : 5°C ~ 35°C
	湿度 : 80% 最大
	保管温度 : 0°C ~ 60°C
	湿度 : 90% 最大
	輸送温度 -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
	湿度 : 90% 最大

I/O コネクタ	電源 : 1つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)
	VGA 入力 2つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント 入力信号用)

VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ ( 黒 )  
(VGA-A ループスルー用)。

S ビデオ入力 : 1 つの標準 4 ピン ミニ -DIN S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。

コンポジットビデオ入力 : 1 つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)

HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。

アナログオーディオ入力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック ( 青 ) & 1 対の RCA コネクタ ( 赤 / 白 )。

可変オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック ( 緑 )。

USB ポート : リモートサポート用の USB スレーブ ( ミニ USB) (x1) および USB コネクタのタイプ A/タイプ B (x2)。

RS232 ポート : ミニ -DIN 6 ピン (x1) (RS232 通信用)。

RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ ( ネットワークを経由したプロジェクタの用コントロール用 )

マイク : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック ( ピンク )。

12V 出力 : 1 つの 12V DC / 200mA 最大。リレースルーブット ( 自動画面の駆動用 )。

## ワイヤレス

ワイヤレス標準 : IEEE802.11b/g

ワイヤレス : ワイヤレスコネクタ (x1) (WiFi の組み込み)。

OS 環境 : Windows 7/Vista/XP/2000、MAC OS X

サポート : プレゼンテーションスライドとプロジェクタ制御。

同時に 30 人までのユーザーに接続できます。

4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテーションスライドを投射します。

会議制御モード。

## ランプ

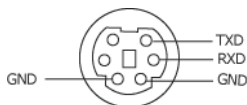
OSRAM 190 ユーザー交換可能ランプ ( 最大 5000 時間 )





**メモ：**プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は50パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約50パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

## RS232 ピン割り当て



### RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクトへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト


最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください:  
[Support.dell.com](http://Support.dell.com).

## 互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 X 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 X 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 X 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 X 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

# Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 [Support.dell.com](https://support.dell.com) をご覧ください。
- 2 ページ下部の **Choose A Country/Region** [ 国/ 地域の選択 ] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の **Contact Us** [ 連絡先 ] をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

## **eInstruction へのお問い合わせ**

eInstruction では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、[techsupport@einstruction.com](mailto:techsupport@einstruction.com) に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

### **USA eInstruction ソフトウェア技術サポート**

電話番号 : 480-443-2214 または 800-856-0732

電子メール : [Techsupport@einstruction.com](mailto:Techsupport@einstruction.com)

### **International eInstruction ソフトウェア技術サポート、EMEA**

電話番号 : +33 1 58 31 1065

電子メール : [EU.Support@einstruction.com](mailto:EU.Support@einstruction.com)

Web での技術サポートは、

[www.einstruction.it](http://www.einstruction.it) でご利用いただけます (米国の場合)

[www.einstruction.de](http://www.einstruction.de) でご利用いただけます (ドイツ)

[www.einstruction.fr](http://www.einstruction.fr) でご利用いただけます (フランス)

[www.einstruction.it](http://www.einstruction.it) でご利用いただけます (イタリア)

[www.einstruction.es](http://www.einstruction.es) でご利用いただけます (スペイン)

# 付録：用語集

**ANSI ルーメン** — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比** — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ** — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度** — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ** — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンジットビデオ** — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度** — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比** — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ — 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

**dB** — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

**対角画面** — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高さ、12FT 幅の画面の対角線は 15FT です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

**DHCP** — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

**DLP®** — Digital Light Processing™ ( デジタル光処理 ) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

**DMD** — digital Micro- Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

**DNS** — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに変換するインターネットサービス。

**焦点距離** — レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数** — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**HDCP** — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ 開発した仕様です。

**HDMI** — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

**Hz (ヘルツ)** — 周波数の単位。

**IEEE802.11** — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g は 2.4GHz 帯域を使用します。

**キーストーン補正** — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離** — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

**最大画像サイズ** — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離** — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることでできる最小距離。

**NTSC** — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員

会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL** — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転** — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB** — Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

**S ビデオ** — 4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス (明るさ、Y) とクロミナンス (色、C) と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

**SECAM** — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SSID** — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

**SVGA** — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

**SXGA** — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

**UXGA** — Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) — 1600 x 1200 ピクセル。

**VGA** — Video Graphics Array (ビデオグラフィックスアレイ) — 640 x 480 ピクセル。

**WEP** — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

**XGA** — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

**WXGA** — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

**ズームレンズ** — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

**ズームレンズ比** — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。



# 索引

## D

Dell への

お問い合わせ 119

Dell へのお問い合わせ 7, 105,  
111

## あ

オーディオ設定 59

オーディオ入力 59

オンスクリーンディスプレイ 45

その他 58

ピクチャ (PC モード) 47

ピクチャ (ビデオモード) 48

メインメニュー 45

ランプ 53

自動調整 47

設定 53

入力選択 46

表示 (PC モード) 50

表示 (ビデオモード) 52

## か

クイックシャットダウン 60

クローズドキャプション 63

コントロールパネル 33

## さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 119

スクリーン 59

スクリーンキャプチャ 59

スクリーン設定 59

スピーカー 59

セキュリティ設定 60

## た

テストパターン 67

トラブルシューティング 103

Dell へのお問い合わせ 103

## は

パスワード 61

パワー設定 60

プロジェクトのズームとフォーカスの調整 30

フォーカスリング 30

プロジェクトの接続

HDMI ケーブル 22, 23, 25

HDMI ケーブルでの接続 22

RS232 ケーブル 16

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 16, 17

S ビデオケーブルでの接続 19

S ビデオケーブル 19  
USB - USB ケーブル 14  
USB-A - USB-B ケーブル 17  
VGA - VGA ケーブル 14, 15  
VGA - YPbPr ケーブル 21  
コンピュータへ 14  
コンポーネントケーブルでの  
接続 21  
コンポジットケーブルでの接  
続 20  
コンポジットビデオケーブル  
20  
電源コード 14, 15, 16, 17, 19,  
20, 21, 22, 23, 24, 25  
プロジェクトの電源を入れる /  
切る  
プロジェクトの電源を切る 28  
プロジェクトの電源を入れる  
28  
ボリューム 59

## ま

メニュータイムアウト 58  
メニューの透明度 58  
メニュー位置 58  
メニュー設定 58

## ら

ランプの交換 111  
リセット 59  
リセット、出荷時 67  
リモコン 35

IR レシーバ 34

## 仕様

I/O コネクタ 114  
RS232 プロトコル 117  
オーディオ 114  
カラーホイール速度 113  
コントラスト比 113  
ノイズレベル 114  
ビデオ互換性 113  
ライトバルブ 113  
画素数 113  
環境条件 114  
均質性 113  
質量 114  
消費電力 113  
寸法 114  
電力供給 113  
投影レンズ 113  
投影画面サイズ 113  
投影距離 113  
表示可能な色 113  
明るさ 113

消音 59

省電力 60

## 接続ポート

+12V DC アウトコネクタ 12  
HDMI コネクタ 12  
RJ45 コネクタ 12  
RS232 コネクタ 12  
S ビデオコネクタ 12  
USB タイプ A ビューアコネク  
タ 12

- USB タイプ B ディスプレイコネクタ 12
- VGA-A 出力 (モニターループスルー) 12
- VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 12
- VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 12
- アンテナコネクタ 12
- オーディオ -A 入力コネクタ 12
- オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ 12
- オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ 12
- オーディオ出力コネクタ 12
- コンポジットビデオコネクタ 12
- セキュリティケーブルスロット 12
- セキュリティバー 12
- マイクコネクタ 12
- リモートマウス用ミニ USB、対話型機能およびファームウェアアップグレード。12
- 電源コードコネクタ 12
- 対話型ペン
  - LED インジケータ 10
  - コントロールパネル 10
  - セキュリティバー 10
  - バッテリーカバー 10
  - レンズ 10
  - 交換用ニブ 10
- 対話型ペンと接続する 12V DC プラグ 26
- USB-A - ミニ USB-B ケーブル 26
- VGA - VGA ケーブル 26
- 自動スクリーン 26
- 対話型ペン 26
- 電源コード 26
- 電話番号 119
- 投影画像の調整 29
  - プロジェクタの高さ調整 29
  - プロジェクタを下げる
    - 傾斜調整ホイール 29
    - 前面傾斜調整ホイール 29
- 本体 9
  - IR レシーバ 9
  - アンテナ 9
  - コントロールパネル 9
  - フォーカスタブ 9
  - レンズ 9
  - レンズキャップ 9